
ミケールとぷうたんの物語 ~番外編「レゴでお城を建てよう!」の巻き~

アストン・ウォルテクス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミゲールとふうたんの物語 ～番外編「レゴでお城を建てよう～」の巻き～

【ZPDF】

Z6590Y

【作者名】

アストン・ヴォルテクス

【あらすじ】

一切説明なしのキャラが直々に説明をする、ミゲふう物語番・外・編！パート1（ワン） 優勝は誰の手に！？ さあ、開幕だ！！！

1：始まり始まつ～。（前書き）

ちよこと気持ち悪い発言あります。

そして、あらすじにも書きましたが、キャラのセリフだけであって
いません。

やつ、いわゆるアニメ的な？

まあ、どうだ！

1・始まり始まり～。

パンパンパン！

西本一也 挑むにあらじい！見むにあらじい！

！お題は・・・『王族が満足しそうな大きなお城』ですー。わあわあ
とっても楽しいよー！！！

「なんど、このルールは、全長50mのお城を作るのだ！！だが、それにはとっても時間がかかるということ···。この俺、宮本武蔵が天下無双の剣であることをしましたー！！それは、光速でレゴを作ることが出来るという装置を作ったのだ！！頭の中で想像したら、それが勝手に作られてしまうというとっても便利なものだ！！また、違和感があれば、そのところだけを直すことが出来る！！制限時間は2時間だ！これは、細かいところまでやるからこういうタイムにした！そして、両方が出来次第、終了で審査員の人たちに審査してもらうのだ！！」

さて、まずは私の審査員を紹介します。ではやはりこの人かやう
ないと…審査員長…そーじらのおばはん…」

おばさん「アーリのおばさんやでーあ、間違えんとこでなー」「アーリ
の「でなれやでーやして、「おばさん」でなれや。わかこわいり
のねえんで正規の名前なんやー」「

宮本「は～いありがとうございます」おまけにこのおばせんへ続いて、副

審査員長あひりのじこさん……」

じこせん「あちいりやのぉ・・・じいいいしゃ・・・・ん才
エツーじゃ・・・」 口からラインボ-

宮本「は～いありがとうございます。続いて、審査員です。これ
からの審査員も地位が高い順に紹介するぞ！まずは審査員1、いしだ石田
みつなり
三成！」

石田「石田三成だ。よろしく頼む。」

宮本「は～いどうも。続いて、審査員2、野尾のび太！」

のび太「ドオラエモオオオオオオオオオオオオオオオン！――――――
！――！（泣）」

宮本「はいありがとう。続いて審査員3、トサキント――」

トサキント「トサキントートサキントトサキントトサキントー――」

宮本「はい、ありがとうございます。続いて審査員4、ボリマッチョー――」

ボリ「ボリマッチョー！ボリ・マッチョードボリマッチョー――」

宮本「ふあいふあふいふあふお～（はいありがとうございます）。続いて、バ
ビブベボ星人！」 あぐび

星人「ぼぶば、ばびぶべびびぶべぶ（僕は、バビブベボ星人で
す）。「

「富本、さういふのはただの観客ですね」。続いて審査員5、織田テイ

「ディブ、織田ディブだ。世は、我の手に……」

富本「今のは織田信長の友達ですね。」
続いて審査員6！ 豊臣秀吉

豊臣「我が世間にべからず村長、豊臣秀吉参る……（私の名前
は、豊臣秀吉！行きます……）」

富本「はい、猿の惑星ですね。次でラストです！審査員7、織田信長！」

信長「信長より目上がいるとなほの・・・・感服じやい！――！」
豊臣に切りかかる

宮本「俺の剣は、天下無双だぜ！――！」
信長を切る。

信長「チーン・・・・」即救急車に運ばれる

富本「はい、少々ハプニングが起きました。織田信長を除いた、計8名の審査員の皆様で鑑定をします！！そして、申し送れました！俺は司会です！富本武蔵！俺の剣は、天下無双だぜ！！！！！」

剣を振り回す

宮本「そして、今度は解説の真田幸村！」

真田「真田幸村で」
「わざがある。」

宮本「では、もうそろそろ始まります！まずは『鳳凰の穴』から出てきます、ふうたん選手…！…！」

両腕を上げてステージに立つ。

宮本「続いては、『蒼竜の穴』から出でます、ミゲール選手！－！
出てきてください！－！」

宮本「さあ、まもなく開始時間になります。その前に、意気込みをお願いします！－まずはふうたん選手！」

ふうたん「俺は負けへんでー」んな口コロハ(口ロヘロコロハ) 野郎のこと)にはな!俺は、主に料理をあるといいや、食するというなどをやっていくで!」「

宮本「ありがとうございます！ 続いて、ミゲール選手！」

ミゲール「俺はこんな人をからかうことが趣味な男には負けない！俺は主に、王族が住みやすい部屋とか、お城の形、お城の周りの風景などを考えて行こうと思います！」

宮本「ありがとうございます」やむこ様です。では、始まりです。」

1：始まり始まり～。（後書き）

次回～またもやアクシデント発生～～！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6590y/>

ミゲールとぷうたんの物語 ~番外編「レゴでお城を建てよう!」の巻き～
2011年11月20日12時51分発行